

## モニタリング結果報告書

平成18年7月

政策体系	番号				
基本目標	6	男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることなどを可能にする社会づくりを推進すること			
施策目標	7	親子ともに健康な生活を確保すること			
	III	小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備を図ること			
担当部局・課	主管部局・課	雇用均等・児童家庭局母子保健課			
	関係部局・課				
実績目標1	乳児死亡率の世界最高水準を維持すること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
乳幼児突然死症候群(SIDS)予防に関する講習会等の普及啓発、周産期医療対策検討会等、乳幼児の死亡率改善のための対策を推進する事業や、地域の実情に応じた先駆的モデル事業等を実施する。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する経費（平成17年度予算額） 母子保健医療対策等総合支援事業 3,628百万円の内数</li> </ul>					
(評価指標の考え方)					
実績目標と評価指標が同一であることから、実績目標をそのまま評価指標とした。					
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
乳児死亡率（出生千人対）	3.1	3.0	3.0	2.8	集計中
(備考)					
評価指標は、人口動態統計による。 平成17年度については集計中					
(参考指標)	H13	H14	H15	H16	H17
乳児死亡率（出生千人対）アメリカ	6.9	—	—	—	—
イギリス	5.5	—	—	—	—
フランス	4.4	—	—	—	—
ドイツ	4.4	—	—	—	—
(備考)					
参考指標は、(財)厚生統計協会「国民衛生の動向」(2005年)による。					
実績目標2	平成12年における幼児(1~4歳)死亡率を平成22年までに半減させること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
乳幼児突然死症候群(SIDS)予防に関する講習会等の普及啓発、周産期医療対策検討					

会等、乳幼児の死亡率改善のための対策を推進する事業や、地域の実情に応じた先駆的モデル事業等を実施する。

- ・ 関連する経費（平成17年度予算額）

母子保健医療対策等総合支援事業 3, 628百万円の内数

(評価指標の考え方)

実績目標と評価指標が同一であることから、実績目標をそのまま評価指標とした。

(評価指標)	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7
幼児(1～4歳)死亡率(人口10万人対)	28.6	26.8	25.0	25.3	集計中

(備 考)

評価指標は、人口動態統計による。

平成12年における幼児(1～4歳)死亡率(人口10万人対)は30.6

平成17年度については集計中